

路上☆裕の「Rock! しょうぜ!!!」

いけがみ☆ゆたかの「ろっくしょうぜ!!!」

僕にとってロックな生き方をしている人はとてもカッコいい存在だ。簡単に言うと自分の信念を貫き通す人の事だ。普通は「ロックな生き方をしている人は？」と聞かれたら矢沢栄吉大先生あたりを思い浮かべる人も多いだろう。でもロックな生き方をしている人は身近にも沢山いるのだ。例えばSTEPのヘルパー井口君は僕に言わせればかなりロックだ。ある日、井口君がこんな事を言っていた。

「蟬って昆虫って言うより動物って感じだよなー」

いや虫だからっ!!!

昆虫と動物の定義を変えちゃうあたり凄まじくロック魂を感じた。その話を聞いていたヘルパーの星野さんもかなりロックだ。

「分かる気がするーっ!!!」って相槌を打っていた。

話は変わるが「言語障害があっても歌手になりたいと思っている人がいる。」という話を理事長の良元さんから聞いた事がある。この時はホントにロックを感じた。ハンデなんか気にせずやりたい事をやる。まさにロックだ。今更ながら井口君なんかにロックを感じたのがとても恥ずかしい。“やりたいと思った事は何でも挑戦していこう”という気持ちは常に僕にもあるのだが、実際は諦めてしまう事も多い。「年齢的に厳しい」とか「金銭的に厳しい」とか「経験が足りない」とか……。ハンデが少しでもあると自信が揺らぎ諦めがちになる。結局、可能性が少ないと思ったらやりたい事にも手を出せなくなるのだ。失敗を恐れないビッグな男になりたいもんだぜコンチクショー!!!

そういえば「ロックな生き方」と「STEPの理念」は共通する点が多い気がする。僕がSTEPのヘルパーとして働く理由はここら辺にあるのかもしれない。

おっ、かなり話がまとまった気がする。俺って文才あるかもっ!

最初に井口君の事なんか書かなきゃ良かった。

井口君ごときにロックを感じたのがとても悔やまれる。

